

## ○九州地方の地震活動

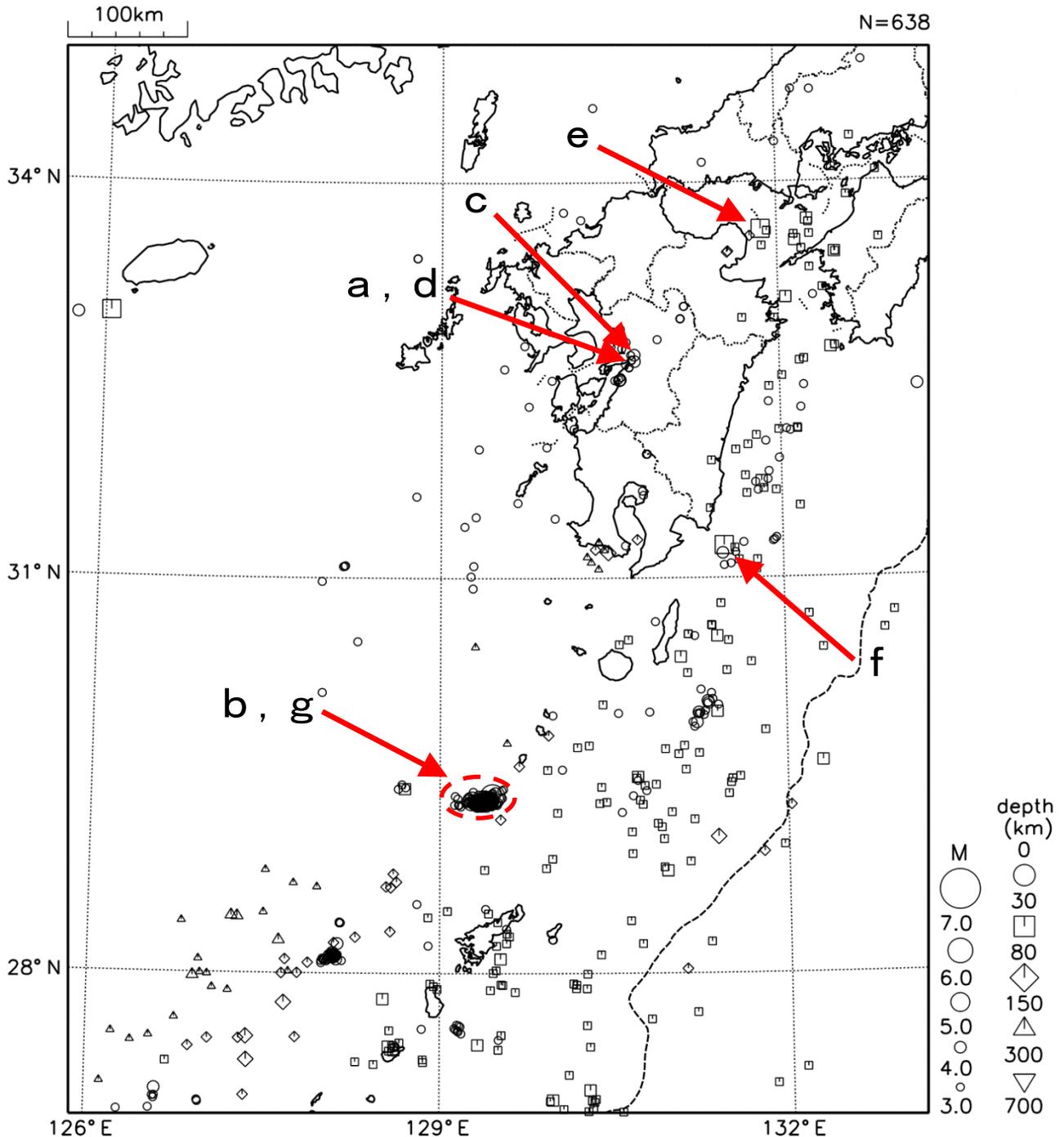


図9 九州地方の震央分布図（2021年1月1日～12月31日、M $\geq$ 3.0）

[概況]

2021年に九州地方で震度4以上を観測した地震は14回（2020年は3回）であった。2021年中の主な地震活動は次のとおりである。

3月14日09時22分に熊本県熊本地方の深さ11kmでM4.4の地震（図9中のa）が発生し、熊本県で震度4を観測したほか、九州地方と高知県で震度3～1を観測した。この地震は地殻内で発生した。

4月9日23時頃からトカラ列島近海（小宝島付近、図9中の領域b）で地震活動が活発となり、4月30日までに震度1以上を観測した地震が265回発生した。最大規模の地震は4月10日07時07分と12日23時01分に発生したM5.3の地震で、ともに鹿児島県十島村悪石島で震度4を観測した。これらの地震は陸のプレート内で発生した。

5月6日09時16分に熊本県熊本地方の深さ14kmでM4.0の地震（図9中のc）が発生し、熊本県の熊本市、宇城市で震度4を観測したほか、九州地方で震度3～1を観測した。この地震は地殻内で発生した。

6月8日16時59分に熊本県熊本地方の深さ11kmでM3.9の地震（図9中のd）が発生し、熊本県宇城市で震度4を観測したほか、九州地方で震度3～1を観測した。この地震は地殻内で発生した。

7月17日20時50分に伊予灘の深さ76kmでM5.1の地震（図9中のe）が発生し、山口県、愛媛県、大分県で震度4を観測したほか、九州地方、四国地方、中国地方と近畿地方の一部で震度3～1を観測した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。

10月6日17時12分に大隅半島東方沖の深さ43kmでM5.4の地震（図9中のf）が発生し、宮崎県と鹿児島県で震度4を観測したほか、九州地方と四国地方の一部で震度3～1を観測した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。

12月4日12時頃からトカラ列島近海（小宝島付近、図9中の領域g）で地震活動が活発となり、12月31日までに震度1以上を観測した地震が308回発生した。最大規模の地震は12月9日11時05分に発生したM6.1の地震で、鹿児島県十島村悪石島で震度5強を観測した。この地震は陸のプレート内で発生した。今回の地震活動により、がけ崩れ等の被害が生じた（2021年12月23日現在、鹿児島県による）。